※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	改訂版　Study-Up ノート　数学Ⅰ＋A　　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では，課題に対して，自ら考え，周りの人と共同で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程を学習し、自らの考えを発表したり，議論したりする活動を行います。
・問題集の問題は、ただ答えを求めるだけでなく，途中式や考え方も書くようにしましょう。また，各自答え合わせした後が大事になります。答え合わせは，自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。家庭学習における課題は，定期的に提出してください。

2　学習の到達目標

①数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析，図形の性質，場合の数と確率について、基礎的な知識や技能を身につけるようにする。
②事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにする。
③数学と人間の活動の関係について認識を深めるとともに，それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析，図形の性質，場合の数と確率における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力や図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数学Ⅰ　第1章　数と式	1 整式の加法と減法 2 整式の乗法 3 因数分解 4 実数 5 根号を含む式の計算 6 不等式の性質 7 1次不等式 8 絶対値を含む方程式・不等式	a: 乗法公式，因数分解の公式で複雑な式が簡単に帰着できることを理解するとともに，式を目的に応じて変形することができる。簡単な絶対値，平方根の計算や分数を循環小数で表すことができる。一次不等式の解を求めることができる。 b:実数の大小関係と数直線を関連付けて考察することができる。不等式の理解を深め，式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c:対称式の求め方に興味を示し，自ら考察しようとする。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	授業プリント 振り返りシート
	数学Ⅰ　第2章　集合と命題	9 集合 10 命題と条件 11 命題とその逆・裏・対偶 12 命題と証明	a: 集合と命題に関する基本的な概念，原理・法則などを理解し，知識を身に付けている。 b: ベン図などを用いて集合の考えを論理的に考察し，簡単な命題の証明について考察することができる。 c:事象を集合と論証の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを利用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	授業プリント 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	数学Ⅰ 第3章 2次関数	13 関数とグラフ 14 2次関数のグラフ 15 2次関数の最大・最小 16 2次関数の決定 17 2次方程式 18 2次関数のグラフと x 軸の位置関係 19 2次不等式	a: 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解しており，平行移動を利用して二次関数のグラフを描くことができる。二次関数のグラフと関数の値の変化における基本的な概念を理解し，最大値や最小値を求めることができる。二次関数のグラフと関数の値の変化における基本的な概念を理解し二次方程式・二次不等式の解を求めることができる。 b:二次関数の決定において，条件に適した式の形を判断することができる。日常や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり考察することができる。 c: 二次関数とそのグラフの性質や特徴について関心をもち，それらを二次関数の考察に活用しようとしている。日常生活における具体的な事象の考察に，二次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。二次関数とそのグラフを用いることの有用性を認識し，二次方程式・二次不等式の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	授業プリント 振り返りシート
2学期	数学Ⅰ 第4章 図形と計量	20 三角比 21 三角比の相互関係 22 三角比の拡張 23 正弦定理 24 余弦定理 25 正弦定理と余弦定理の応用 26 三角形の面積 27 空間図形への応用	a: 鋭角や鈍角の三角比の意味と相互関係を理解している。正弦定理，余弦定理を理解し，それを用いて平面図形や空間図形の計量をすることができる。 b: 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに，その性質や相互関係を考察することができる。図形の構成要素間の関係に着目し，日常の事象や社会の事象を数学的に捉え，問題を解決したり，考察することができる。 c: 三角比を用いて直接測ることのできない長さや角度が求められることに関心をもち，事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	授業プリント 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	数学Ⅰ 第5章 データの分析	28 データの整理 29 データの代表値 30 データの散らばりと四分位数 31 分散と標準偏差 32 2つの変量の間の関係	a: データの分析における基本的な概念，原理・法則などを理解し，分散及び標準偏差の知識を身に付けている。 b: 散布図や相関係数などを用いてデータの傾向を捉え，それらを的確に表現することができる c:分散及び標準偏差などを用いてデータの傾向を把握し，事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	授業プリント 振り返りシート
	数学A 第1章 場合の数と確率	1 集合の要素の個数 2 場合の数 3 順列 4 組み合わせ 5 事象と確率 6 確率の基本性質 7 独立な試行と確率 8 条件付き確率	a: 確率の意味，試行や事象,積事象，和事象の定義を理解している。 b: 集合の性質を用いて，確率の性質を一般的に考察することができる。 c: 統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	授業プリント 振り返りシート
	数学A 第2章 図形の性質	10 三角形の辺の比 11 三角形の外心・内心・重心 12 チェバの定理・メネラウスの定理 13 円に内接する四角形 14 円と直線 15 2つの円 16 作図 17 直線と平面 18 空間図形と多面体	a: 線分の内分・外分，平行線と比や三角形の外心，内心，重心などの定義，性質を理解している。正多面体の特徴を理解し，それに基づいて面，頂点，辺の数を求めることができる。 b: 図形の性質を証明するのに，既習事項を用いて論理的に考察することができる。また，適切な補助線を引いて考察することができる。空間における直線や平面が平行または垂直となるかどうかを，与えられた条件から考察することができる。 c: 三角形の辺と角の大小関係という明らかに見える性質を，論理的に考察しようとする。空間における図形の位置関係について，積極的に考えてみようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	授業プリント 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	数学A 第3章 数学と人間の活動	19 約数と倍数 20 素数と素因数分解 21 最大公約数･最小公倍数 22 整数の割り算 23 ユークリッドの互除法 24 1次不定方程式 25 記数法	a:素因数分解を利用して最大公約数･最小公倍数を求める方法を理解している。 b: 問題解決の過程を振り返って，割り算の余りの性質について考察を深めることができる。 c: 日常生活における具体的な事象の考察に，約数と倍数の考えを活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	授業プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度